



☆☆今月のテーマ☆☆

- ・新しい環境に慣れ、保育士に親しみ安心して過ごす。
- ・身近な春の自然にふれることを楽しむ。



うさぎぐみ(0歳児)



日々、うららかな日差しが春の到来を感じさせる今日この頃。こどもたちもきっとそうしたかっただけでしょうに…しかし、今回は感染症拡大防止の観点から大変残念ながら急遽、発表会開催は断念せざるを得ませんでした。ただ、練習の成果として、表情豊かな楽器演奏や体操する微笑ましい姿は必ず別の機会でご披露できれると思います。最近、お散歩で行く先々で「でんちゃ」や「ブルーバイク!」と発語が豊富になってきたようです。こども同士の関わり合いも喃語から言葉のコミュニケーションへと進化しつつあるようです。新年度から、新しいお友だちが加わり、落ち着くまでは大変かもしれませんが、ここからの発達を楽しみにしながらよく見守っていくようにしますのでよろしくお願ひします。



うさぎぐみ(1歳児)



春の陽気の中、寒の戻りで身震いすることもあります。そんな天候なので体調不良に陥る子もいます。ここは生活リズムを維持し、“手洗い”と“うがい”でしっかりと感染症予防をしていきたいと思ひます。感染症拡大が収まらず、今回は楽しみにされていた発表会を中止にせざるを得ませんでした。そこで披露する予定だった合奏は当初、みんなと音を合わせるのに一苦勞で先が見えない状況にも見えました…そこは、順応性の高い子たちなので次第にハーモニーを奏でれるようになってきました。本番を想定した動物のお面などをつけた練習では多少、はにかむ場面もありましたが、一人ひとりが任されたパートを頑張っている姿が頼もしく感じられました。この月齢の時期は、自我が確立される頃でもあり、当初の一人遊びや並行遊びからお友だち同士の関わり合いが増えていきつつあります。そこから“喜・怒・哀・楽”といった感情豊かな人間性の育みに繋がるように今後もよく見守っていくようにしていきたいと思ひます。



ぱんだぐみ(2歳児)



春の陽気と冬の寒気がぶつかり合い、体調管理が難しい季節ですね。まずは、お初に近いジャングルジム等の遊具があり、こどもたちが興味津々の公園へ少しばかり足を延ばしてきました。こどもにとっては高く感じるジャングルジムでも物怖じせず登る子がいて、負けじと他の子も登り、意気投合し、喜んでいたのが印象的でした。他方、こどもたちの成長ぶりを見ていただく生活発表会は、2歳児だけの表現の場として開催することになりました。普段通りだったり、恥ずかしさで実力の半分も発揮出来ず仕舞など、一人ひとりのパフォーマンスの違いはありましたが、今持つ力を存分に披露できたので“佳”としましょう。そんな中でも、みんなは(今できることを)一生懸命に頑張っていたので素敵でした。これは一つの通過点でしかありませんので、ここで得たものをさらに進化させ、頑張っていて欲しいと願っております。

♪今月の唄♪

- ♪ちようちよ
- ♪ちゅうりっぷ
- ♪せんせいとおともだち

～行事予定～

- ・体操教室…8日(2歳児)
- 22日(0・1歳児)
- ・リミック教室
- …13日(全園児)
- ・身体測定…15日
- ・英語教室 …21日
- ・誕生日会…24日
- ・避難訓練…28日



～クラス担当者のご案内～

今年度は各月齢担当は以下の通りです。

- ◇うさぎ組 (0歳児)
中原・山根
- ◆うさぎ組 (1歳児)
佐々木・上杉・服部
- ◇ぱんだ組 (2歳児)
秋山・藤井・寺澤
- ◆フ リー
土橋・海戸

よろしくお願ひします。

☆新しいおともだち☆

- [0歳児]
- ◇おおしま はるきちゃん ◆ささき ゆうせいくん
- [1歳児]
- ◇やぶき まなほちゃん ◆きたむら けんくん
- ◆のま たいちくん ◇にい ひなこちゃん
- ◇うた ゆいなちゃん ◆まつもと あかりちゃん
- ◆つばね りんくん ◇にい ひなこちゃん
- [2歳児]
- ◇おおしま とおかちゃん ◆もりもと こはねちゃん

給食だより

平成18年、文部科学省は「早寝早起朝ごはん」運動を推進し、こどもの生活習慣や生活リズムの向上につながる取組みをしています。また、「食う寝る遊ぶ」という言葉があるように、この言葉は(個々の)「生活リズム」を表すものと言えます。一方、人間が健康に過ごすために欠かすことのできない体内リズムという言葉もあり、これは(太陽の登っている)明るい日中は活動的に、逆に暗い夜は休息を、と働きかけてくるものです。ですから、“早寝早起き”という体内&生活のリズムを一致させ、心身の健康を維持することによって身体の中の免疫力がアップし、病気にかかりにくくすることは極めて重要と言えます。

最後のキーワードの「朝ごはんを食べる」も「食べない」についてですが、人間は就寝中も栄養素を使って細胞の新陳代謝が行われているので、朝起きた時には、体内の栄養素やエネルギーは少なくなっています。ですから、朝食はその不足した栄養素を補充し、(消化器の筋肉が活性化するので)体温を上げてくれることから活動の準備を整えてくれることになります。また、口から摂取された食べ物は、食道を経、胃から腸へと進み、腸のぜん動運動により排便効果があります。これから何かと新しい環境など、不慣れで大変な場面もあるでしょうが、この「早寝早起朝ごはん」を実践できるようにし、みんなが快適な新年度をスタートしていけるようにしましょう!!

